

# 加須市のブロンズ会議



# ブロンズ会議の目的（介護予防・生活支援の体制整備の取組み）

## ○ブロンズ会議の目的

加須市では、介護予防・生活支援を中心とする「地域で高齢者を支え合うしくみづくり」を実践するため、各地域・地区への「**ブロンズ会議**」の設置を促進している。

また、多様な主体による多様な取組みをコーディネートする役割等を担う「**生活支援コーディネーター**」を配置している。

### ①ブロンズ会議とは

地域で活動している団体や住民が、地域にお住まいの高齢者を地域全体で支え合うという共通の目的を持って集まり、見守りや声かけ、日常生活におけるちょっとした困り事の手伝いなど、その地域に必要な支え合いの仕組みについて話し合ったり、活動したりする「地域支え合いの仕組みづくり」のことを、加須市では「ブロンズ会議」と呼んでいる。

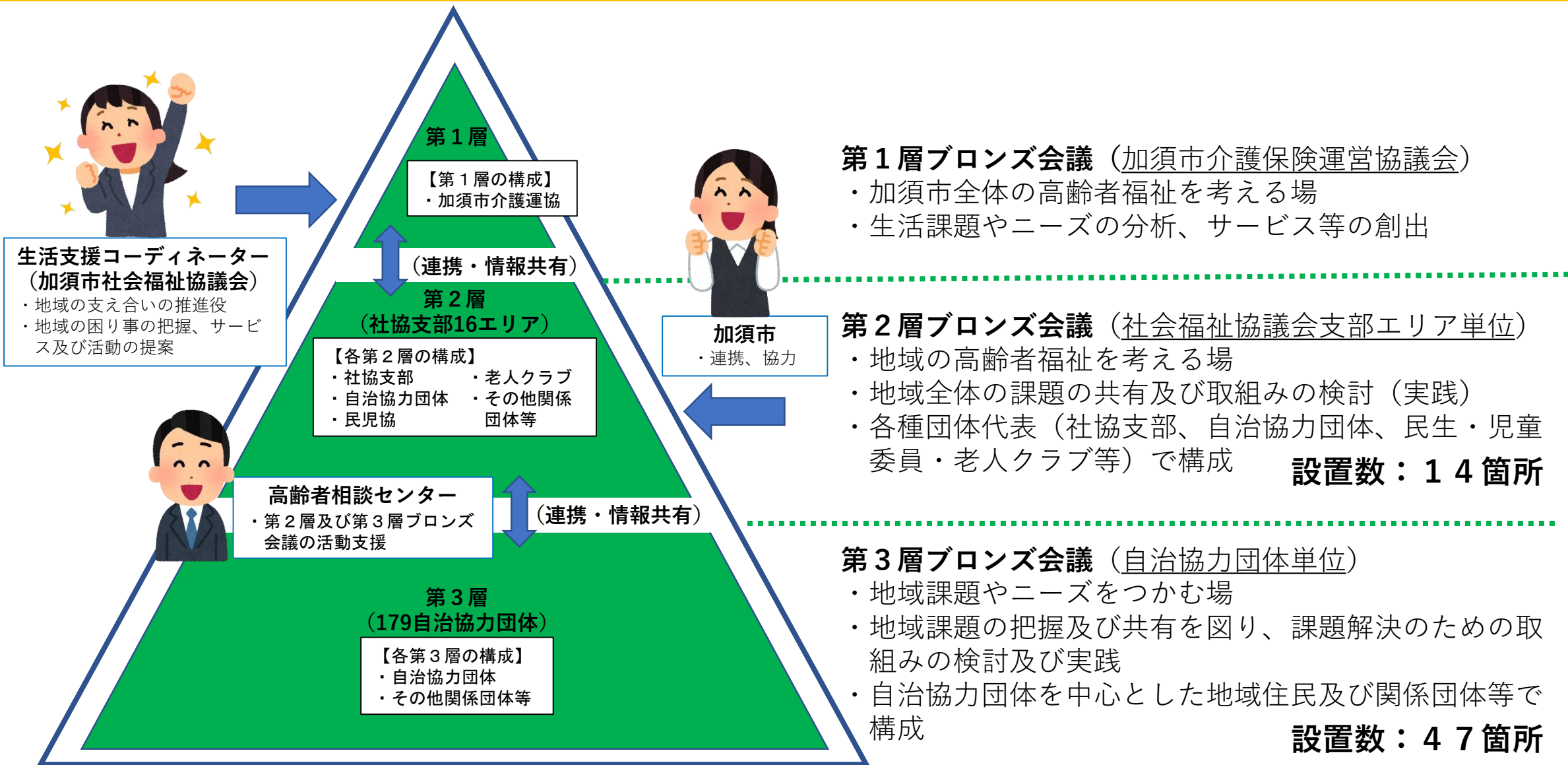
### ②ブロンズとは

「ブロンズ」という言葉には、「シルバー（高齢者）以前」という意味合いがある。現在も多くの高齢者が「シルバー以前」という気概と高齢者を支えるという意識を持って「ブロンズ会議」に参加している。

### ③生活支援コーディネーターとは

地域に不足するサービスの創出、サービスの担い手の養成、元気な高齢者等の活動の場の確保、関係者間の情報共有等を行う「地域の支え合いの推進役」。

# ブルンズ会議の構成（3層構造）



# ブロンズ会議の活動（2層及び3層）

## 1 第2層ブロンズ会議の役割

### （1）地域全体の課題の共有及び取組みの検討（実践）

- ①各自治会や町内会、各種団体等で実施している介護予防や生活支援の活動の事例及び課題の共有、元気な高齢者の活躍の場の協議
- ②課題解決に向けた取組みを検討（実践）するほか、第3層ブロンズ会議へ具体的な取組みを提案
- ③人材の育成（研修会・視察等）

### （2）活動例

- ①（介護予防）介護予防体操、集いの場
- ②（生活支援）新型コロナワクチン予約支援、移動販売（視察及び利用検討）
- ③（人材育成）第2層ブロンズ会議関係者意見交換会

## 2 第3層ブロンズ会議の役割

### （1）地域課題の把握及び共有を図り、課題解決のための取組みの検討及び実践

- ①地域の困りごとの抽出（ニーズの把握）
- ②課題解決のため、第2層ブロンズ会議で提案された取組みのほか、第3層ブロンズ会議が独自に協議し、解決に向けた取組みの実践
- ③住民同士の「顔の見える関係」を維持、または再構築し、互助の意識を醸成

### （2）活動例

- ①（介護予防）ラジオ体操、ふれあいサロン、老人クラブへの参加促進及び活動支援
- ②（生活支援）ゴミ出し手伝い、あんしんシート、出前講座（消費者トラブル等）、高齢者相談センター出張相談、災害時要援護者及び避難援助者のマッチング
- ③（関係づくり）声かけ、見守り、イベント等への参加

